

第3次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況（令和3年度）

1 取組状況について

全20項目の事業について、令和2年度の取組実績（見込）をもとに、各事業における成果指標の目標値（令和3年度）に対する進捗状況を評価した。

2 「成果指標」の進捗評価結果（概要）

第3次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの初年度の取組であり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見きわめつつ取組を進めてきたが、収束のきざしは見え、逆に感染再拡大も発生したことから十分に取り組むことができなかった。しかし、こうした中でも定住自立圏形成協定の変更等による事業の拡大等により、昨年度の「第2次共生ビジョン」との比較とはなるが、「B：おおむね順調」が増えている。今後も新型コロナウイルス感染症等の状況を踏まえながら、引き続き取り組んで行く。

政策分野	取組 事業数	進捗評価		
		A：順調	B：概ね順調	C：要改善
1 生活機能の強化に係る政策分野	11	2	7	2
医療	1			1
福祉	1		1	
教育	1	1		
産業振興	6	1	4	1
環境衛生	1		1	
その他	1		1	
2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	5	3	1	1
道路等の交通インフラの整備	1	1		
地域内外の住民との交流・移住促進	3	1	1	1
その他	1	1		
3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	4	0	1	3
宣言中心市等における人材の育成	1			1
宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保	1			1
その他	2		1	1
合計	20	5 (25%)	9 (45%)	6 (30%)

※（％）は、全体のうち、A、B、Cと評価された事業の割合

3 連携する具体的な取組事業の実績について

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

■ 医療

① 地域医療の連携（1市2町）

事業名	徳島市民病院との連携強化事業				
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町				
取組内容	徳島市民病院を核とした圏域内の自治体病院との医療連携の構築を図るとともに、地域医療向上のため、地域の医療従事者に対する教育と研修に努める。				
成果指標	連携施設から徳島市民病院への紹介患者数（年間）				
	当初値(令和元年度)	7人	目標値(令和7年度)	15人	
	実績(年度)	R3(見込) 5人	R4	R5	R6
進捗状況	昨年度に続き、合同研修会はコロナ対策のため中止となる見込みであるが、今後はWEB開催を検討していく。なお、連携施設において他病院への紹介が必要となった患者のうち、病状その他の理由により徳島市民病院への紹介が少なかったことが原因と思われる。				進捗評価 C
今後の方向性	連携施設に対し、急性期病院としての徳島市民病院の取り組みをさらにアピールしていく。				
【令和3年度の取組実績（見込み）】 ○徳島市民病院において、連携施設からの紹介患者に対する医療の提供・がん患者の積極的受け入れを行った。 【患者数】5人（勝浦病院5人、上勝診療所0人）※令和3年12月末時点					

■ 福祉

② 子育て環境の充実（2市8町1村）

事業名	病児保育事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内住民に対する子育て支援の充実を図るため、連携市町村が実施する病児保育事業について、病児・病後児（概ね10歳未満の急性期を経過した病中病後の児童）の広域利用を可能にする。				
成果指標	病児保育利用延べ人数（年間）				
	当初値(令和元年度)	7,798人	目標値(令和7年度)		10,029人
	実績(年度)	R3(見込) 7,338人	R4	R5	R6
進捗状況	令和2年度の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用者数の減少から、令和3年度は例年並みに増加する見込みである。				進捗評価
					B
今後の方向性	今後も新型コロナウイルス感染症の動向を把握し、適切な対策を取りつつ利用者数の増加を図っていく。				

【令和3年度の実績（見込み）】

○病児保育事業の広域利用を徳島市、小松島市、勝浦町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町の11市町村で実施した。

◎広域利用可能施設

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ・ふじおか小児クリニック（徳島市） | ・田山チャイルドクリニック（徳島市） |
| ・愛育小児科（徳島市） | ・えもとこどもクリニック（徳島市） |
| ・ひなたクリニック（徳島市） | ・未広ひなたクリニック（徳島市） |
| ・徳島赤十字乳児院（小松島市） | ・伊勢内科小児科（石井町） |
| ・北島こどもクリニック（北島町） | ・富本小児科内科（藍住町） |

（順不同）

○広報用リーフレットを15,000部作成し、市立・私立保育所及び委託医療機関等で配布したほか、各市町村において転入者にも配布した。

○広報紙や各市町村ホームページ等の広報媒体を活用し、引き続き広域化を周知した。

■ 教育

③ 公共施設の広域利用（1市3町）

事業名	圏域内図書館相互利用事業				
連携市町村	徳島市・石井町・北島町・藍住町				
取組内容	連携市町村の個人利用に限定した「利用者カード」を発行し、連携市町村立図書館の相互利用を実施する。				
成果指標	相互利用登録者数（累計）				
	当初値(令和元年度)	3,083人	目標値(令和7年度)		3,900人
	実績(年度)	R3(見込) 3,825人	R4	R5	R6
進捗状況	新たに藍住町（藍住町立図書館）を加えた体制へ円滑に移行することができ、順調に実績を上げることができている。				進捗評価
					A
今後の方向性	取組を着実に続けていくことにより、安定した実績を残していく。				

【令和3年度の実績（見込み）】

○徳島市立図書館及び北島町立図書館の相互利用を実施した。

また、令和3年7月1日からは新たに藍住町立図書館が加わった。

○図書館相互利用状況・居住地別新規登録者数（令和3年12月末現在）

	新規登録者 (人)	居住地別			
		徳島市民	北島町民	藍住町民	石井町民
徳島市立図書館	120	—	34	41	45
北島町立図書館	165	71	—	92	2
藍住町立図書館	118	80	22	—	16
合計	403	151	56	133	63

■ 産業振興

④ 圏域内の観光資源を生かした観光開発、観光誘致（全市町村）

事業名	観光開発・観光誘致事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域市町村が有する自然や歴史・文化など、さまざまな観光資源を発掘して魅力向上を図ることで圏域での観光エリアを形成し、宿泊、地元食材を生かしたグルメなどの体験観光による長期滞在型観光を実施するとともに、観光資源やイベント等の情報発信・PRを一体的に行い、関連産業の拡大や観光消費の活性化を図り、圏域内外での交流人口を拡大する。				
成果指標	連携市町村観光客入り込み数（年間） ※集計方法を徳島市独自の方法から徳島県の方法に変更した。				
	当初値(令和元年)	8,988千人	目標値(令和7年)		10,000千人
	実績(暦年)	R3(見込) 5,000千人	R4	R5	R6
進捗状況	セールス事業や県内外のイベントでの観光PR事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、計画どおりの実施は難しかったが、関係市町村が連携を図り、市町村間の交流人口の拡大及び観光客の誘客に向けた取組みを実施した。しかしながら、新型コロナウイルスの影響は大きく、連携市町村観光客入り込み数は、目標値を大幅に下回った。				進捗評価 C
今後の方向性	コロナ禍においても認知度向上に向けた情報発信の強化や観光ガイドの人材育成など、徳島東部地域DMOを中心とした広域的な観光地域づくりを推進するとともに、地域の価値を理解し、地元を誇りを持つ住民を増やす取組みを進めることで、観光消費額の増加や観光客満足度並びに住民満足度の向上に努める。				

【令和3年度の実績（見込み）】

○徳島東部地域DMOを中心とした観光地域づくりの推進

◇マーケティングリサーチ事業

- ・観光アンケート調査の実施
- ・住民満足度調査の実施

◇情報発信&プロモーション事業

- ・SNS等での情報発信及び分析
- ・WEBプロモーション事業
- ・募集型企画旅行支援事業

（次ページにつづく）

◇セールス事業

- 10月11日～12日：関西地方からの誘客のための営業活動（大阪・神戸・京都）
- 10月18日：中国地方からの誘客のための営業活動（広島）
- 10月19日～20日：HIKE！TOKUSHIMA ファムツアーの実施
- 10月27日～28日：HIKE！TOKUSHIMA ファムツアーの実施
- 11月15日～16日：オール徳島観光商談会（東京）
- 11月15日～16日：四国観光商談会（東京）
- 12月16日～17日：四国観光商談会（大阪）

◇観光地域づくり事業

- ・観光コーディネーター養成講座による観光人材育成
- ・「イーストとくしま誘客ラボ」開催
 - 第1回：11月17日
 - 第2回：3月23日（成果報告会）
- ・WGからの「食」「お土産」「藍」「お遍路」に関わる提案に対する事業化の検討・実施
- ・マイクロツーリズムの旅行造成支援
- ・「藍のれん」のあるまちづくり推進事業
- ・アドベンチャーツーリズムやサステナブルツーリズム等に軸足を置いた新たな観光コンテンツの開発・商品化

◇特産品PR・販売促進事業

- ・WEBサイトによる特産品の販売促進
- ・体験型観光（フード&クラフトツーリズム）のコンテンツ造成及び販売促進

◇広域観光案内事業

- ・徳島駅前拠点施設における連携市町村の観光案内及び宿泊案内等による積極的な情報発信

◇とくしま動物園リニューアル事業

- ・圏域の観光資源の1つである動物園の魅力向上のため、リニューアル事業に取り組んだ。
- ・圏域内市町村の成人式に「徳島東部地域定住自立圏無料招待券」と動物園パンフレットを配布（4,988人）し、来園を促した。
- ・動物園センター内に圏域内市町村の観光パンフレットを設置し、来園者に配布した。

○連携市町村が実施した主な取組

- ・「ビッグひな祭り」の開催、グリーンツーリズムの取組（勝浦町）
 - 「第34回元祖ビッグひな祭り」を令和4年2月26日に開催（予定）、グリーンツーリズムの取組として「あかりの里」、おひな巡り等のイベントも実施（予定を含む）、他にも各種体験コンテンツを実施。

（次ページにつづく）

- ・「いっきゅうと彩りの里」の魅力発信（上勝町）

モンベルフレンドエリア登録を継続し、全国約100万人以上のモンベル会員に情報提供を行ったほか、上勝観光アプリ「まるかみ」の運営や「上勝町ゼロ・ウェイストポータルサイト」のコンテンツの充実化を行った。また、ゼロ・ウェイスト推進のためにゼロ・ウェイストチャンネルを開設し動画を配信した。上勝町のPR素材として写真家に上勝町の四季を撮影してもらい、あわせて子どもたちへのキャリア教育として写真撮影ワークショップを開催した。

- ・地域産品の魅力化（上勝町）

町内生産者や事業所とともに12品の新規地域産品を開発した。令和3年度は体験型プログラムの開発・実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大を受け公開を見送った。地域産品についてはHPやSNSでPRしたことで、ふるさと納税サイト等でも取り上げられ、上勝町の地域産品の魅力を多くの方に伝えることができた。

- ・納涼夏祭りの開催（石井町）

石井町飯尾川公園においてのイベントの実施は中止したが、CATVで「石井町おうちで夏祭り」としてふじっこちゃんダンス・阿波踊り教室・空から見る打ち上げ花火（ドローンで打ち上げ生放送）等を放送。新たな形で開催し、好評を得た。

- ・鮎喰川のPR・道の駅の運営（神山町）

町内を流れる清流・鮎喰川で鮎の放流を行ったほか、道の駅で来訪者に最新の地域情報を発信するとともに、旬の山の幸を提供した。また、季節に応じた小さなイベント等を数多く企画し、神山町のランドマークである神山温泉との包括的な観光振興を図った。

- ・北島チューリップ公園の運営・チューリップフェアの開催（北島町）

北島町を代表する春のメインイベント「チューリップフェア」を北島チューリップ公園で開催し、連携市町村の観光地との連携による観光客の誘致を図った。（令和3年4月に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため規模を縮小して開催）

- ・勝瑞城館跡の整備（藍住町）

国史跡「勝瑞城館跡」を地域の歴史文化が体感できる場として、また藍住町のシンボル空間としてや周辺文化財や観光資源などを結ぶ拠点として整備した。

⑤ 地域特産品を生かしたブランド化及び地産地消の推進（全市町村）

事業名	特産品ブランド化・地産地消推進事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	農林水産物加工品等の圏域外に向けた販売やPRを推進するとともに、「とくしまIPPIN店」認定店の圏域内拡大、圏域内の関係団体との交流などについて、圏域全体で連携して取り組む。				
成果指標	とくしまIPPIN店認定数（累計）				
	当初値(令和2年度)	161店	目標値(令和7年度)	180店	
	実績(年度)	R3(見込) 170店	R4	R5	R6
進捗状況	HP等を活用した広報や新型コロナウイルス対策の他事業との連携により、IPPIN店認定店舗が増加した。				進捗評価 B
今後の方向性	「とくしまIPPIN店」認定の募集・拡大について継続して取り組む。各種広報媒体によるPR活動も行い、地産地消の推進を図るとともに認定店舗のメリット措置拡大にも取り組む。				

【令和3年度の取組実績（見込み）】

○地産地消推進事業

- ・連携市町村において「とくしまIPPIN店」認定の募集・拡大を継続するとともに、各種広報媒体によるPR活動を積極的に行うことで、地産地消の推進を図った。
- ・「とくしまIPPIN店」において、地元産食材を使用した料理。加工品等を消費者に直接味わってもらうことで、消費拡大につなげた。

○連携市町村が実施した主な取組

圏域の各市町村が農水産物のブランド力向上のための取組を行ったほか、販売促進のための取組を実施し、圏域内での地産地消を推進した。

- ・「阿波かつら」及び「勝浦熟成みかん」の認知向上
関西方面を中心に広報活動を実施。出荷時期に合わせ、JR大阪駅に駅ナカ広告を出展、駅周辺の量販店において「勝浦熟成みかん」の販売ブースを展開。ギフト用ボックスの制作、道の駅オンラインショップ等での販売も計画している。（勝浦町）
- ・産地直売市の開催と新商品の開発（藍住町）
「あいずみスマイリーマルシェ」において産地直売市を開催（11月21日）し、旬の野菜の対面販売を行った（来場者数5,000人）。圏域内からの来場者への対面販売により消費者ニーズの把握、町産野菜をPRし、地産地消を推進した。
また、藍住町にんじん需要拡大協議会において「冷凍にんじん」を試作し、次年度は特産品のにんじんを使って新商品開発を目指す。

⑥ 地域資源や企業等の技術を活用した産業の育成（2市5町）

事業名	コミュニティビジネス起業支援事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町				
取組内容	地域産業の活性化を図るため、コミュニティビジネスの普及啓発、コミュニティビジネスに対する起業支援や経営支援等の検討、圏域内連携による起業情報提供（ホームページ等）を行う。				
成果指標	コミュニティビジネスセミナー参加者数（年間）				
	当初値(令和2年度)	8人	目標値(令和7年度)	20人	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
		14人			
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、参加者定員を縮小したため、目標値の達成は難しかった。				進捗評価 B
今後の方向性	連携市町村と、十分な感染防止対策を講じたうえでセミナーを開催し、コミュニティビジネスで起業・創業する人の知識取得や人的交流などの支援を行ってきたい。				

【令和3年度の実績】

○地域の課題をビジネスの手法で解決するコミュニティビジネスに関心のある方を対象に、創業セミナーを開催（連続4回）した。また、セミナー時に、起業に関する相談等創業支援事業者間の連携体制を周知した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として定員を30名から14名に縮小して開催した。

【セミナーの内容】

- 第1回 10月7日：思いの種を見つけよう！
- 第2回 10月14日：思いの種をまこう！
- 第3回 10月21日：思いの種を芽吹かせよう！
- 第4回 10月28日：思いに花を咲かせよう！



セミナーちらし

⑦ 圏域内への企業誘致の推進（2市4町）

事業名	企業誘致活動推進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・板野町				
取組内容	効果的な企業誘致活動ができるよう、徳島県や地元企業とのネットワークを新たに構築し、活用するとともに、新たに立地を求める企業が情報収集し易い環境整備を図るため、企業目線で連携市町のホームページを整備し、利便性・満足度の向上を図る。				
成果指標	誘致した企業数（累計）				
	当初値(令和2年度)	58社	目標値(令和7年度)	88社	
	実績(年度)	R3(見込)	R4	R5	R6
		1社			
進捗状況	工場については、産業団地の完売等による用地不足のため、新規に誘致（建設）することが難しくなっている。貸しオフィスを活用した情報通信関連事業等の誘致に努める。企業は積極的な採用を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、人材の確保に苦慮している。				進捗評価
					B
今後の方向性	より一層の企業誘致制度の周知を図り、誘致企業の増加に努める。				
<p>【令和3年度取組実績（見込み）】</p> <p>○各自治体の企業誘致ホームページの相互リンク</p> <ul style="list-style-type: none"> 各市町の企業誘致ホームページを相互リンクすることで、立地候補地の情報収集を行う企業に対し、各市町単独だけではなく圏域としてもアピールを行い、より効果的な企業誘致活動につなげた。 					

⑧ 中心市街地の都市機能の充実（全市町村）

事業名	中心市街地都市機能整備事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	中心市街地のにぎわいや回遊性等を高めるため、徳島市の成長戦略の柱である「地域産業の拡大」「都市中心部の魅力の向上」「定住人口の維持拡大」に関連するさまざまな事業を実施し、観光・産業の振興を主とした都市機能の強化を図ることで、人々がいつも訪れ、居住者が増え、新たな雇用を生み出していく中心市街地づくりを推進する。				
成果指標	中心市街地が便利で活気にあふれていると感じる市民の割合 (中心市街地に活気が戻ってきたと感じる市民の割合：徳島市市民満足度調査)				
	当初値(令和2年度)	7.8%	目標値(令和7年度)	12.0%	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
		6.2%			
進捗状況	各事業については概ね順調に進捗している。				進捗評価
					B
今後の方向性	水辺空間を生かしたコンテンツをさらに充実させることで、「水都・徳島」のイメージアップを図り、市民の愛着や誇りの向上と県外からの注目度を高める。				

【令和3年度の取組実績（見込み）】

○LED 景観整備事業

新町川に架かる富田橋にLED 景観整備作品を整備した。(令和4年1月完成)

○ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業

本市中心部(両国)と徳島ベイエリア(県庁前、万代、南末広、マリニピア沖洲)を結ぶ新ルートについて社会実験(試験運航)を実施し、本格運用につなげるための調査分析を行った。



○新ホール整備事業

県市協調による新ホール整備に関する役割分担等を定めた基本計画に基づき、周辺インフラの移設を進めるとともに、敷地内の市道廃止や建設用地の譲与に関する手続き等を行った。

⑨ 鳥獣害対策の推進（2市6町1村）

事業名	鳥獣害対策推進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内の市町村、地区猟友会、農協など関係団体での情報共有を図るとともに、圏域内市町村が連携して広域的に鳥獣害対策を推進する。				
成果指標	鳥獣侵入防止柵の設置延長（R3～R7 累計）				
	当初値(令和元年度)	29,004m (H28-R2 累計)	目標値(令和7年度)		15,000m
	実績(年度)	R3(見込) 2,313m	R4	R5	R6
進捗状況	侵入防止柵の設置は、目標年度での達成に向けて順調に取り組みを進められている。				進捗評価 A
今後の方向性	侵入防止柵の効率的な設置に向けた野生鳥獣の動向の把握とあわせ、加害鳥獣の捕獲を継続することで鳥獣被害対策を推進していく。				

【令和3年度の実績（見込）】

○圏域市町村との情報交換

- ・ニホンザルSKT群関係市町村である佐那河内村及び神山町、県農林水産総合技術支援センターとニホンザルの動向についての情報交換を行い、ニホンザル捕獲による群れの個体数減少につながられた。

○連携市町村が実施した主な取組

- ・狩猟の労力軽減対策として、ICT技術を活用（勝浦町）
くくりワナ・箱ワナに有害鳥獣が掛かった場合、携帯に捕獲通知が届くシステム「有害鳥獣対策監視センサー」を昨年度に引き続き30台導入。（通算して合計106台導入。）
勝浦猟友会員の約5割に活用が浸透している
- ・神山町農作物鳥獣害防止対策事業（神山町）
農業者が町内の園地に侵入防止柵（電気柵、ワイヤーメッシュ等）を設置する際に補助金を交付した。
- ・有害鳥獣の捕獲促進と被害防止対策設備に対する補助（上板町）
有害鳥獣による農林産物及び人間の生活環境への被害の防止を図るため、町の捕獲許可を得た有害鳥獣捕獲者に対し、捕獲報奨金を交付することにより有害鳥獣捕獲を促進した。また、有害鳥獣による農業被害を防止するため、有害鳥獣被害防止対策設備を購入する者に対して、その経費の一部を補助した。

■ 環境衛生

⑩ 公共施設の広域利用（2市2町1村）

事業名	火葬場整備・利用促進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村				
取組内容	圏域内（小松島市）において、火葬場を整備する。 運営に当たっては、広域利用の促進及びその周知を行い、住民の快適で衛生的な生活環境の確保を図る。				
成果指標	連携市町村住民利用件数（年間）				
	当初値(令和元年度)	161件	目標値(令和7年度)		170件
	実績(年度)	R3(見込) 168件	R4	R5	R6
進捗状況	火葬場施設の備品等を設置したことにより、利用者の利便性が向上したほか、圏域住民の利用も増えており、概ね順調に取り組んでいる。				進捗評価
					B
今後の方向性	施設の適正な管理運営に努めるとともに、引き続き広報媒体等により周知を行い、圏域住民の衛生的な生活環境の確保を図っていく。				
<p>【令和3年度の実績（見込み）】</p> <p>○火葬場整備・利用促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な管理運営に努めるとともに、広域利用について引き続き広報媒体等により周知を行うとともに、利用者に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に理解と協力をお願いしつつ、圏域住民の衛生的な生活環境の確保を図った。 					

■ その他

⑪ 環境保全活動の推進（1市8町）

事業名	地球温暖化対策推進事業				
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内市町村が連携して地球温暖化対策に取り組むことにより、圏域内の住民、事業者、行政が行う温暖化防止活動の取組拡大を図る。				
成果指標	こどもエコチャレンジノート配布部数（年間）				
	当初値(令和2年度)	332部	目標値(令和7年度)		1,000部
	実績(年度)	R3(見込) 359部	R4	R5	R6
進捗状況	「こどもエコチャレンジノート」等を教材として、子どもたち（次世代）を対象に小学校等で環境教室を実施し、家庭でできる取組について一緒に考える機会を持つことができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より集会、授業等での配布機会は少なかった。				進捗評価
					B
今後の方向性	一人でも多くの住民に環境に対する意識を持ってもらえるよう、取組内容を見直しながらこれまでの取組を実施する。連携市町において環境学習を実施する機会が減少傾向にあることから、担当者で改善等を協議する機会を持つことを検討する。				
<p>【令和3年度の取組実績（見込み）】</p> <p>○ノーマイカーデー、ライトダウンデーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーマイカーデー等に職員のマイカー通勤の抑制等（公共交通機関の利用促進等）に努めた。 ・ノーマイカーデーの徹底や昼休みの消灯、開庁時間内においても不要な照明等の消灯に努めた。 <p>○環境学習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こどもエコチャレンジノート」を活用し、小学校等において地球温暖化対策に関する環境学習を実施した。 <p>○エコアクション21の認証取得支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21の相談会や広報を実施し、普及促進に努めた。 <p>○連携市町村が実施した主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテン事業等の実施（北島町） 緑のカーテンコンテストの開催及び町施設へのゴーヤ苗の配布を行うことで、夏場の空調機器使用を抑え、地球温暖化防止を図ることに努めた。（令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため町民へのゴーヤ苗配布は中止した。） 					

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

■ 道路等の交通インフラの整備

⑫ 圏域内外を結ぶ道路網の整備促進等の連携（全市町村）

事業名	圏域道路網整備促進等事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域市町村が連携して、圏域内外を結ぶ主要幹線道路等の国・県への共同要望や市町村界に係る市町村道路改良の情報交換を実施する。				
成果指標	情報交換回数（年間）				
	当初値(令和2年度)	1回	目標値(令和7年度)		1回
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
		1回			
進捗状況	計画していた情報交換を実施し、成果指標の目標を達成できている。				進捗評価
					A
今後の方向性	引き続き情報交換等を実施し。各市町村との連携を図る。				
<p>【令和3年度の実績】</p> <p>○市町村界に係る道路整備推進のための情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者部会での情報交換を実施。（随時） <p>○連携市町村が実施した主な取組</p> <p>道路整備促進のための要望活動（4同盟合同）として、圏域内外を結ぶ主要幹線道路の早期整備促進について、各市町村が連携して要望活動を行った。（国交省四国地方整備局、中央省庁ほか）</p>					

■ 地域内外の住民との交流・移住促進

⑬ 文化・スポーツ交流の推進（2市5町）

事業名	ニュースポーツ用品の相互利用事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町					
取組内容	圏域内でのニュースポーツの普及・活動支援のため、圏域内の市町でニュースポーツ用品の相互利用を図る。					
成果指標	相互利用回数（年間）					
	当初値(令和元年度)		1回	目標値(令和7年度)		
	実績(年度)	R3(見込)	R4	R5	R6	R7
		0回				
	参加者数（年間）					
	当初値(令和元年度)		40人	目標値(令和7年度)		
実績(年度)	R3(見込)	R4	R5	R6	R7	
	0人					
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止されたため。				進捗評価	
					C	
今後の方向性	連携自治体とニュースポーツ普及についての方向性を確認の上、事業を実施する。					
<p>【令和3年度の取組実績（見込み）】</p> <p>○ニュースポーツ用品の相互利用 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止されたため実績なし。</p>						

⑭ 就農支援体制の連携強化（2市7町1村）

事業名	就農支援体制連携強化事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・藍住町・板野町・上板町					
取組内容	圏域内外の就農希望者や意欲ある農業者に対し、農地活用情報・耕作放棄地をデータ化し、情報発信するとともに、耕作放棄地再生利用対策の取組状況の周知や新規就農希望者に対して農業体験事業を共同実施する。					
成果指標	農地中間管理機構を活用した農地貸借面積（ha）（累計）					
	当初値(令和2年度)	1.0ha	目標値(令和7年度)		20ha	
	実績(年度)	R3(見込)	R4	R5	R6	R7
		3.2ha				
進捗状況	今年度は目標値に対してやや低い値に留まったが、関連事業の推進によって昨年度と比較し賃借面積は増加しており、目標達成に向けて取り組んでいる。				進捗評価	
					B	
今後の方向性	今後も国や県の関連事業とともに推進することで、担い手となる農家への農地集積を図る。					

【令和3年度の実績（見込み）】

○農地中間管理事業

- 農地中間管理機構からの業務委託に基づき、農地の貸付者及び借受者の受付・マッチング等を行うとともに、研修会の通知等の機会において事業周知に努めた。

○連携市町村が実施した主な取組

- 新規就農者へ資金的な援助を実施（勝浦町）
新規就農支援事業（経営型）新規就農者へ資金的な援助を実施（3年間で200万円）し、継続できる就農を支援した。
- 石井町藤の里いきがい農園事業（石井町）
石井町藤の里いきがい農地として遊休農地を活用し、住民に農作業の場を提供し、自然の良さと物作りを楽しみ・収穫の喜びを体験することにより、農耕に対する意識の高揚を図るとともに遊休農地の再生利用をすることができた。

⑮ 移住・長期滞在の推進（2市3町1村）

事業名	移住・長期滞在推進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・神山町				
取組内容	中心市が持つ都市機能の魅力と、近隣市町村が持つ環境や地域コミュニティなどの農山地の魅力を活用した情報発信方法の研究を行い、徳島県、とくしまふるさと回帰推進協議会及び観光関係団体等と連携して、移住及び長期滞在地としての魅力を都市圏に向け情報発信する。				
成果指標	移住者数（年間）				
	当初値(令和元年度)	346人	目標値(令和7年度)		564人
	実績(年度)	R3(見込) 802人	R4	R5	R6
進捗状況	移住促進については、県等の関係機関と連携して取り組んでおり、移住者数も順調に取り組んでいる。(令和 年度の目標値には達しなかったが、累計では順調に達成できている。)				進捗評価
					A
今後の方向性	移住希望者の知りたい居住・しごと等の情報を提供することで、移住を促進し、定住人口の増加を図る。				

【令和3年度の実績（見込み）】

- 関係団体との連携
 - ・県及びふるさと回帰推進協議会等との連携により、情報発信を行った。
- 移住支援金支給事業
 - ・連携市町村において、東京圏からのU・Jターン促進及び地方の担い手不足対策を目的に、各市町村への移住者に対して、移住に要する費用を支給する移住支援金支給事業を実施した。
- 連携市町村による移住・長期滞在推進事業
 - ・徳島市
 - ◇「徳島市移住交流支援センター」にて移住相談に応じるとともに、移住希望者向けパンフレットの配布や移住促進サイト「ええとこじょ！とくしま」などを通して、情報発信を行った。
 - ◇地域産業の担い手確保のため、県外の人材を対象とした、就労体験プログラムを実施する「ふるさとワーキングホリデー」に取り組んでいる。令和3年度は人材不足等の課題が顕著な、保育人材を対象に行い、保育人材の確保と移住の促進を図った。
 - ◇コロナ禍においても実施できる取組として、「移住体験ツアー動画」を制作した。今後移住イベントなどの様々な機会を活用し、効果的な移住促進に取り組む。



- ・勝浦町
 - ◇町内への定住人口の増加を図るため、町内施工業者を利用した住宅のリフォーム工事に要する経費の一部を地方生活実現移住支援金として交付した。(補助額：リフォーム工事費の2/3以内で上限30万円)
 - ◇町内において住宅を新築、建替え、購入をする者に対し、勝浦町住まい応援事業補助金を交付し、本町人口減少の抑制と地域経済の活性化を図った。(補助額：新築等費用の1/10以内で上限100万円、町内業者施工等の要件で加算あり)
 - ◇勝浦町の移住窓口にて直接相談やポータルサイトを通しての移住相談を受け付けた。また、移住希望者に対して空き家バンクの利用者登録や「トライアルハウス坂本家」の利用を促したほか、移住フェアについてオンラインでの参加を行った。
- ・神山町
 - ◇「神山町移住交流支援センター」を運営し、移住支援のノウハウ、町内外に広がるネットワークを活かし、ワンストップサービスによる、きめ細やかなサービスを提供した。
 - ◇空き家情報データベースを活用し移住者向け住宅情報を提供した。

■ その他

⑩ 情報システムの共同研究（1市6町）

事業名	情報システム共同研究事業				
連携市町村	徳島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内市町村が連携して情報システムに関する課題や問題点などについて情報交換し、対応策について協議するとともに、今後の自治体クラウド導入に対してのメリット・デメリット、各業務におけるその有効性等についての情報交換や研究を行う。				
成果指標	情報交換回数（年間）				
	当初値(令和元年度)	2回	目標値(令和7年度)	2回	
	実績(年度)	R3 2回	R4	R5	R6
進捗状況	自治体DX推進に向けた各自治体での取組状況について、連携市町間で情報交換を行った。また、重点取組事項等を進める上で必要な、コストや効果、導入方法等について調査・研究を行い、連携市町間で情報共有した。				進捗評価 A
今後の方向性	連携市町間の情報交換を継続するとともに、自治体DX推進に向けた重点取組事項等を進めるにあたり、必要な課題の洗い出しや、課題を解消するための対策等について連携市町間で調査・研究を行う。				

【令和3年度の取組実績】

- 連携市町において、自治体 DX 推進に向けたアンケート調査を実施し、各自治体が特に重要と捉えた重点取組事項等について、情報共有を行った。

- 自治体 DX 推進に向けたアンケート調査の結果、各自治体が特に重要と捉えた重点取組事項等について、さらに詳しく取組状況を調査し、課題解消に向けた、より効果的な対策を検討した。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

■ 宣言中心市等における人材の育成

⑰ 圏域内市町村職員の人材育成（全市町村）

事業名	圏域内市町村職員人材育成事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域自治体職員の意識改革と資質の向上を図るため、圏域内市町村が連携して合同研修会を開催する。				
成果指標	研修会開催回数（年間）				
	当初値(令和2年度)	0回	目標値(令和7年度)		1回
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
	0回				
進捗状況	昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の拡大対策のため、圏域内と連携した合同研修会を実施することができなかった。				進捗評価
					C
今後の方向性	多様な行政課題を効果的・効率的に処理できる職員力の強化に向け、随時、研修の内容等を検証し、計画的な人材育成に取り組む。				

【令和3年度の取組実績】

- 「防災対策講演会」実施（10月26日実施、徳島市役所13階大会議室）
新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、人数を制限し徳島市職員のみで実施。

- 「行動変革講座」は新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため中止。

■ 宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

⑩ 外部からの人材の確保（全市町村）

事業名	外部人材共同招へい事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	専門的な知識や経験、実績、新しい発想などに優れた外部の人材を共同招へいして活用することにより、地域資源の発掘、新たな産業振興や人材育成など、各連携分野で専門的見地から助言や支援を求め、圏域の活性化を図る。				
成果指標	外部人材活用件数（R3～R7 累計）				
	当初値(令和2年度)	活用の検討	目標値(令和7年度)		活用の検討
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
		0回			
進捗状況	連携市町村において外部人材の活用を検討したが、招へいには至らなかった。				進捗評価
					C
今後の方向性	他の圏域における先進事例を調査・研究し、新たな活用の検討を図る。				
【令和3年度の取組実績（見込み）】					
○連携市町村において圏域の活性化を図るため、外部人材の活用の検討を行った。 （招へいには至らず。）					

■ その他

⑱ 圏域内市町村の行政運営機能の強化（全市町村）

事業名	行政運営に関する研究会開催事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	連携市町村で「行政運営に関する研究会」を開催し、自治体をマネジメントしていく上で共通課題として重要度の高いテーマを研究することにより、自治体運営機能の強化及び圏域自治体間の連携強化を図る。					
成果指標	研究会開催回数（年間）					
	当初値(令和2年度)		1回	目標値(令和7年度)		
	実績(年度)	R3(見込)	R4	R5	R6	R7
		1回				
	研究会参加自治体数（1回当たり）					
	当初値(令和2年度)		11市町村	目標値(令和7年度)		
実績(年度)	R3(見込)	R4	R5	R6	R7	
	12市町村					
進捗状況	研究会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、日程の都合及び密となる会議等の開催を見合わせたことから、今年度の開催回数は1回となる見込み。				進捗評価 B	
今後の方向性	引き続き、人材育成及び地方自治体をマネジメントしていく上で、共通課題として重要度の高いテーマを選定し、講師を招いた研究会等、圏域自治体及び担当課と連携して研究会を開催する。					
<p>【令和3年度の実績（見込み）】</p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、対面での会議を取りやめ、Web会議による研究会の開催を1回程度（令和4年3月予定）実施する見込み。</p>						

⑳ 地域づくり活動の育成・支援（全市町村）

事業名	地域づくり活動団体等育成・支援事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	徳島市市民活力開発センターが圏域全体で助言・相談等を行い、地域の人と地域づくり活動に関わった人との交流を促進する。また、各地域での協働事業の創出を支援するとともに、意欲的な市町村に対し重点的な支援を行う。				
成果指標	地域づくり活動の参加者数（年間）				
	当初値(令和2年度)	42人	目標値(令和7年度)	1,000人	
	実績(年度)	R3(見込) 52人	R4	R5	R6
進捗状況	新型コロナウイルスの影響により圏域内からの利用者は少なかったが、広報誌を送付するなど、現在の状況下でできることを実施した。				進捗評価
					C
今後の方向性	今後も講座や相談支援などは続けていく。				

【令和3年度の取組実績（見込み）】

○徳島市市民活力開発センターの取組

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館期間もあったが、電話での相談対応は行った。
- ・新型コロナウイルスの影響により今までどおりの活動ができない団体が増えており、Zoom講座（オンライン講座）を実施することで、今後の活動を支援した。
- ・広報誌では、圏域市町村の活動団体の活動内容を詳しく取り上げ、圏域内住民に対し広く情報発信をすることができた。

○ 圏域住民への普及啓発等（全市町村）

事業名	定住自立圏構想PR事業
連携市町村	全市町村
取組内容	徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの推進にあたり、圏域市町村の住民等に対して、連携事業の取組状況や成果について計画的な広報活動を行う。 （形成協定に規定していないが、包括財政措置の対象経費として認められる取組である。）
<p>【令和3年度の取組実績（見込み）】</p> <p>○定住自立圏構想推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村のホームページを通じ、取組状況などを周知した。 	